



ごあいさつ

院長 荻津 守

先日特別養子縁組や里親の普及啓発用のパンフレットを目にする機会がありました。特別養子縁組で子を迎えた親、迎えられた子、里親の下で育った子、里親をしているご夫婦の音が掲載されており、いずれにも「家族」への深い愛情と尊敬が感じられて、まさに合縁奇縁と胸が熱くなりました。

グローバル化の影響か、里親志望者の中に外国の方も増えています。面会に来られる様子を見ていると、子どもたちの可愛らしさに甘々になってしまうのはお国も関係ないようで、片言でも溢れるように愛情を示す様子を見ていると人種を超えた人と人との結びつきを実感します。

今、ウクライナで、イスラエルで、世界の紛争地域で、身も心も傷つき、飢え、泣いている子どもたちがいます。平和でさえあれば血も肌の色も信じるものも関係なく手を取り合えるはずなのに、とやり切れない思いです。



主任保育士 北條 友子

私はこの度、20年の永年勤続表彰を頂きました。振り返れば短大の頃、子ども達のよき理解者でありたいと思い、乳児院への就職を考えていました。実習に来た時、子どもたちの幸せを切に願う保育者の姿を見ました。「担当児とは、人生を共にするんだよ」と、私の実習指導の方の、その言葉が胸に響き、自分の思いは強くなりました。本当にありがたいことに縁あって、あれから20年。それはもう、奇跡の連続でした。どんな時も先輩や後輩達、子ども達がいって私を支えてくれました。

乳児院は今、社会的養護のニーズにこたえるために形を変えていこうとしていますが、子ども達にとって信頼できる大人の存在は変わらずにあって欲しいと考えます。この20年の節目に、気持ち新たに、子ども達に失礼の無いように関わりたいと思います。

この健康な体と、支えてくれる家族と、一緒に働く皆に心からの感謝を込めて。

作業療法士 須田 由利

乳児院に作業療法士がいるのは珍しく、当院での役割について模索しながらもうすぐ1年です。

赤ちゃんや子どもは体を動かしながらトライ&エラーの中で脳や神経を成熟させ発達していきます。赤ちゃんの「見たい！舐めたい！触りたい！」子どもの「これ何？あれ何？やってみたい！」を日常の関わりの中での意識づけや工夫、様々な感覚を使った豊かな遊びの経験を通して、心や体の発達の土台を育てていけたらと思っています。

心理療法担当職員 島田 幸実

入職して1年半が経ち、子どもたちの成長を間近に感じながら、乳児院心理職のあり方について日々模索しています。その中で私が特に大切にしていることは、子どもたちに“あなたはとても大切な存在であること”“愛されていること”を伝えていくことです。抱っこ等のスキンシップ、暖かくて優しい語りかけ、子どもたちの気持ちを想像し言葉にして伝える等、当たり前のことかもしれませんが、日々の情緒的な関わりや交流が心の土台を育てると信じ、子どもたちが穏やかに安心して過ごせるよう支援していきたいと思っています。



かわいい衣装を着て…

ハッピーハロウィン！



お友だちの車を
おいしょおいしょ



チューリップの
球根を植えました

どんぐりや赤い実を
たくさん集めたよ



もう少しとおすわいだ！

ご支援
ありがとうございます

aden&anais(柵様よりおくるみ等、ケラッタ(柵様より夏用スリーパー、赤木まどか様より手作り人形用抱っこ紐、とちぎコープ生活協同組合様より精米、作新学院中等部様より現金のご寄付を賜りました。

